

国立中央大学（台湾）

国際文化交流学部 国際文化交流学科 藤木 菜緒

留学期間：2019.09.01～2020.08.28

日本に帰りたい、早く一年が過ぎ去ればいいのに、留学生活が始まって当初こう思って過ごしていた日々が信じられないくらい、日本に帰ってきた今留学生生活を振り返って思い出すのは、楽しかった思い出ばかりです。そこで今回は、私の台湾留学について紹介します。

まず、中央大学はとても素晴らしい大学です。広く、自然に溢れており、週末は学校外からたくさんの方が遊びに来る開放的な場所であったため、のびのびと生活することができました。国籍や年齢を問わずさまざまな人と関わることができる中央大学では、さまざまな文化や価値観、考え方に触れる機会が多くあり、新しい発見の連続にわくわくの毎日でした。

次に、大学で受けていた授業についてです。

留学期間中、午前中は言語センターの中国語の授業、午後からは英文科の授業に出ていました。その中でも特に言語センターでの毎日の授業は、一年間の留学生活の中でも一番とっていいほど、とても貴重な時間でした。毎日だからこそ自分の中国語の上達を実感できました。そのことが自信につながり、私を大きく成長させてくれたと思っています。初めは手を振って



微笑むことしか出来ませんでした。勉強すればするほどコミュニケーションを取ることができるようになり、そうすることでたくさんの友達をつくることもできました。一緒に授業に出て、授業が終わったら一緒にご飯を食べに行く毎日は、国籍が違って中国語ができるようになりたいという同じ目標に向かって、みんなで頑張る一体感を感じることができた特別な思い出です。



放課後はたくさん運動し、週末はたくさんいろいろな場所に行きました。最後の4ヶ月はテニス部の活動に参加し、試合に出ることもできました。先生方や地域の方々とも一緒にテニスをしていたので、テニスを楽しみながら台湾のことについて幅広く学ぶことができ、テニスを通しての出会いは私の宝物になりました。

台湾で過ごした1年間はあっという間でしたが、本当にたくさんを経験しました。もちろん楽しいことばかりの留学生活ではありませんでしたが、困ったことがあったらたくさんの方が助けてくれ、問題が発生するたびに人の温かさに触れました。留学を考えている皆さんへ、留学するならぜひ台湾へ！皆さんもきっと台湾で充実した留学生活を送ることができると思います。最後に、中央大学に留学することができて本当によかったと心から思っています。